

# 血液がん

より良い治療とより良い治療



日時: 2012年11月10日(土) 13時~17時

会場 松江テルサ(松江勤労者福祉ホール)

資料代 1人1,000円

※参加の事前申し込みは要りません

共催 NPO法人日本臨床研究支援ユニット(JCRSU)、NPO法人白血病研究基金を育てる会、JCRSU・がん電話情報センター

白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群…など、病気本体や治療法が複雑でわかりにくくまた治療期間が長い血液がんですが、ぜひ基本から学んで理解を深めましょう。また「同じ血液がんでも自分とは病名のちがう疾病」と「自分では受けないかも知れない治療法」についてもぜひお話を聞いてください。いろいろな治療法の概略を理解することは、自身の病気を深く知る上で、さらにより良い治療選択をする上でとてもたいせつな事です。

第2部ではそれぞれの疾患のグループにわかれ、専門医を交えてご自身の病気治療の進歩を共有し、同じ疾患の方々で交流します。さらに、寄せられた質問へのアドバイスを皆で共に聴いて、日頃の疑問や不安を解消し、闘病生活のヒントをたくさんつかんでください。

第3部では、看護師さんや緩和ケアの先生から暮らし(生活感覚)に密接なアドバイスを受けて、より良い治療とより良い闘病生活を目指しましょう。講演を聴いて質問が湧けば、どんなに個人的な問題でも遠慮せず質問用紙を出し、疑問「解決の1日」としてください。

座長 島根県立中央病院 吾郷浩厚先生

総合司会 NPO法人血液情報広場 つばさ 橋本明子

## I. 全体会の(1)

### 血液がんについて基礎知識をもとう

#### 血液と血液がんの病態

血液細胞の働き、血液がんはそれぞれ造血のどの過程でがん化するのか、など、造血と疾患の基本学習を通して「同じ血液がんにも、様々な病気がある」ことを知ることで自身の疾患の理解を深めます。また、標準治療の「標準」やとても気になる言葉「治験に参加」、「エビデンスに基づいた医療」などの意味について聴きます。

鳥取県立中央病院 田中孝幸先生

### 血液と血液がんの病態

#### 血液がんの治療

血液がんの治療には化学療法、造血幹細胞移植、分子標的療法、放射線治療、免疫療法、そして支持療法などがあります。主にここでは化学療法、移植、分子標的療法について焦点をあて、それぞれの治療の特徴と使い分け、最新の臨床データ、移植が必要な場合のタイミングなどについて学びます。

#### I 薬物による治療

都立大塚病院 宮脇修一先生

#### II 造血細胞移植治療

島根県立中央病院 吾郷浩厚先生

## II. 疾患別Q&A分科会 —各分科会同時進行—

各疾患の特徴と治療法の特性・進歩についてご説明(20分間)いただき、個々の疾患について質疑応答(30分)を行います。分科会参加者全員と講師とが一体となってさまざまな疑問について会話し考えましょう。進行役は各疾患グループの方です。

#### ◎慢性骨髄性白血病

田中孝幸先生

#### ◎悪性リンパ腫

島根大学 鈴宮淳司先生

#### ◎急性白血病

宮脇修一先生

#### ◎多発性骨髄腫

島根県立中央病院 若山聡雄先生

#### ◎骨髄異形成症候群

松江赤十字病院 遠藤章先生

## III. 全体会の(2) より良く暮らしながら闘病するために 15:30~16:35

### 暮らしと血液がん治療

#### ◎血液科のナースから

島根県立中央病院 飯塚淳子さん

免疫力が大きく落ち込む時期があるのが血液の治療の特徴です。感染症などの合併症をより少なくして、快適な闘病生活を送るためのさまざまな留意点、看護からの支援の受け方について聴きます。

#### ◎化学療法室のナースから

鳥取県立中央病院 外来化学療法室 安達直美さん

外来化学療法室で行なわれている化学療法の実際と治療中(自宅で問題が起きた場合も含めて)のトラブル対処法やこころの持ち方、また外来で看護師さん達にどう相談したらよいか、アドバイスをお聴きします。

#### 治療初期から密接に関与する緩和治療

島根県立中央病院 精神神経科 高尾 碧(きよし)先生

より良いがん治療とより良い闘病生活のために、緩和(またはがん)治療とこころについて考えましょう。

～がん治療による身体的副作用、精神的副作用をうまく乗り切るための相談の仕方、それらをうまく乗り切っていくための方法について。

#### 共に考えるより良い治療とより良い治療 講師全員による会場全体とのQ&A

血液がん共通の質問を司会者が読み上げ、複数の講師からのアドバイスを聴き、各自の参考として共有します。

賛助  
企業

セルジーン株式会社、ブリストル・マイヤーズ株式会社、ノバルティスファーマ株式会社、協和発酵キリン株式会社、ヤンセンファーマ株式会社、日本新薬株式会社、株式会社ヤクルト本社、バイエル薬品株式会社、富士フィルムPIファーマ株式会社

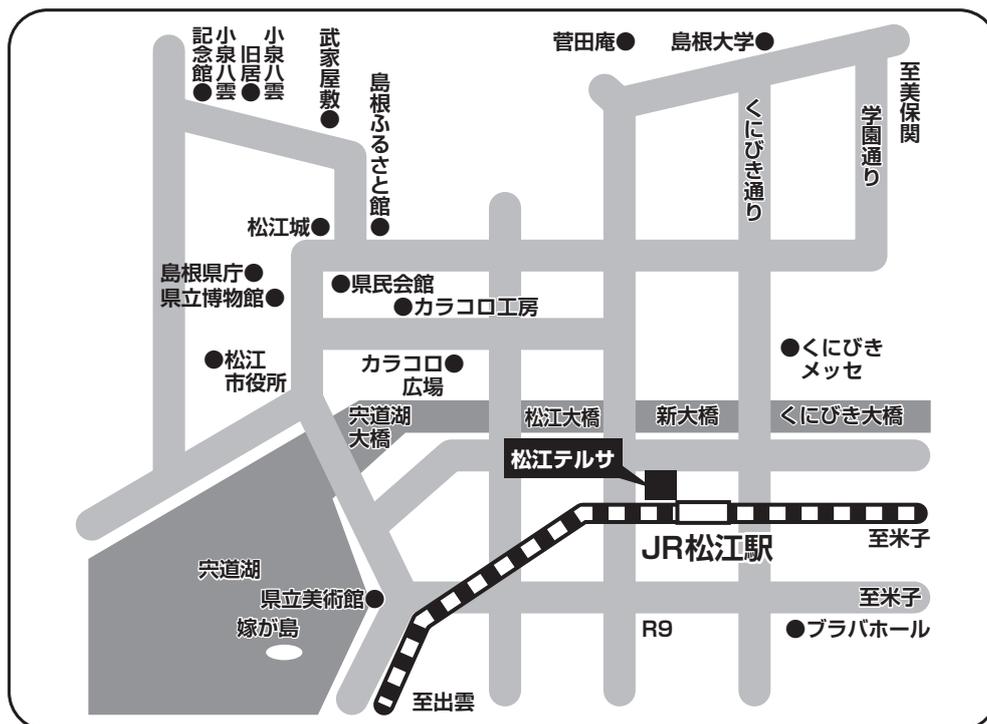
血液がんの治療、闘病生活などについての疑問・質問・ご相談の受け付け 詳細は裏面に

一般問い合わせ/NPO法人血液情報広場・つばさ 03-3207-8503 (月~金 12時~17時)

後援:公益財団法人 骨髄移植推進財団

# 会場案内図／松江テルサ

住所：島根県松江市朝日町 478-18 (JR 松江駅前)



## 事前質問の受付 ※個別相談ではありません

○A4 以下の紙 1 枚に、下記の①～⑤を書いて送って下さい。(締め切りは 11 月 2 日必着)

FAX 送付の場合 03-3203-2570

郵便送付の場合 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 533

早稲田大学前郵便局々留

NPO 法人血液情報広場・つばさ 北海道フォーラム質問受付担当

### ①病名

### ②患者さんの性別と年齢

### ③ご質問(相談) ※2 件までで 1 件は 200 文字程度。

病院名と医師名は書かないでください。ただし電話でお尋ねする場合があります。

### ④ご相談者さんのお名前(会場に見える方。患者さんとの関係)

ご連絡先電話番号(必須です。個人情報として扱いますが、質問内容を確認させていただく場合のためです)。

### ⑤参加会場名(例、山陰フォーラム)

※寄せられた質問(ご相談)は、全体会・講演、疾患別分科会 Q & A、などで対応されます。

他の参加者のみなさんと一緒に先生方のアドバイスを聴き、より良い治療選択にいかしましょう。

※「こんな個人的なことでもいいのか」と迷われても是非送って下さい。

案外たくさんの方が共通の疑問や不安を感じているものです。

※病気の理解、自分の場合はいつ移植を選択するか、白血病化したのだが再寛解導入の可能性はあるか、等々。

また、退院後の生活、家族の問題(夫婦生活は可能? 気持ちを理解されない等)、セカンドオピニオンの切り出し時…、なんでもこの際、どうぞ。

## 広報、分科会司会等のご協力団体 (いつも本当にありがとうございます)

・ NPO 法人日本臨床研究支援ユニット (JCRSU)	<a href="http://www.crsu.org/">http://www.crsu.org/</a>
・ NPO 法人白血病研究基金を育てる会	<a href="http://www.flrf.gr.jp/">http://www.flrf.gr.jp/</a>
・ JCRSU・がん電話情報センター	<a href="http://www.crsu.org/jcrsu/sevices/cc.html">http://www.crsu.org/jcrsu/sevices/cc.html</a>
・ 慢性骨髄性白血病 (CML) 患者・家族連絡会「いずみの会」	<a href="http://members.jcom.home.ne.jp/firstsight/izumi/">http://members.jcom.home.ne.jp/firstsight/izumi/</a>
・ 日本骨髄腫患者の会	<a href="http://www.myeloma.gr.jp/">http://www.myeloma.gr.jp/</a>
・ 骨髄異形成症候群 MDS 連絡会	<a href="http://www.geocities.jp/mdsrenraku/">http://www.geocities.jp/mdsrenraku/</a>
・ NPO 法人ライフボート	<a href="http://www.lifeboat-jp.net/">http://www.lifeboat-jp.net/</a>
・ 院内患者会世話人連絡協議会 (HosPAC)	<a href="http://www.medicina-nova.com/kaisaiyotei.htm">http://www.medicina-nova.com/kaisaiyotei.htm</a>
・ NPO 法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ	<a href="http://www.millefeuille.or.jp/">http://www.millefeuille.or.jp/</a>
・ 慢性骨髄増殖性疾患患者・家族会 (MPD-NET JAPAN)	<a href="http://mpdnetjapan.org/?eid=187">http://mpdnetjapan.org/?eid=187</a>

がん全般について がん電話情報センター：0570-055224  
治療費の助成について つばさ支援基金：0120-711-656

水、お茶、乳酸菌飲料などの用意がありますので、  
ご持参の必要はありません